

2026年

3

6月12日

# 国見中 だより

文責 校長 陣内美紀

## 火災避難訓練とその後



中間テストが終わった昨日の6月11日（木）の5時間目、火災避難訓練が行われました。調理室からの発火で、避難経路にそってグラウンドに避難する設定でした。

放送の指示に従って迅速に落ち着いて避難し、消防署の方からも「よくできていた」との評価をいただきました。消防署の方からの講話の後、消火器の使い方の説明と生徒に6名による実技がありました。講話の中では「実際に火事が起こったとき、パニックになることが多い。そのために、避難訓練をして避難経路やどう行動するかをシュミレーションすることが大切だ」とのお話がありました。

どれだけ自分事として考えて行動したかということが、実際に火事や天災が起こったとき活かされるということだと思います。今回の避難訓練で全員の無事が確認できるまでにかかった時間は8分。グラウンドに全員が揃（そろ）うまでは5分以内でしたが、人数確認までに時間がかかりました。

この3分をどう縮めるか、この間に助かったかもしれない命を救うためにはどうすればよいか、教室に戻った後、各クラスで考えてもらいました。

帰りの会后、各クラスの担任の先生からの報告を聞いて、さすが国見中の生徒だと感心しました。どのクラスもそれぞれが自分事として考えて、活発に意見を出し合って素晴らしい意見をまとめてくれたことがわかりました。

災害に備えて「自分の命は自分で守る」ということがよく言われます。そのために、日ごろから「自分の頭で考えて、意見として表現し、周りの意見を聞いて、よりよい行動につなげる」ことが大切です。今回の避難訓練後の話し合いでそれがしっかりできていたと思います。以下に各クラスの話し合いの結果を紹介します。

### 1年生

#### 1-1

- ・すばやく行動→普段から人の話をしっかり聞き、すぐ行動する
  - ・私語をなくす（お互いに声をかける）
  - ・整列するとき前後左右を確認する
- 課題：人数確認がしにくい（途中からならびがぐちゃぐちゃ）→指示をするとすぐに並んでくれた

#### 1-2

- ・人数の確認を総務だけでなく周りにいる全員で協力してする
- ・隊列を崩さずに移動する（広がっているクラスがいて移動しづらかった
- ・早く着いた人が並ぶように声掛けをする

#### 1-3

- ・しゃべらないですばやく（ほとんどの人がしゃべっていた）
- ・列を乱さないで歩く

#### くすのみ 1

- ・周りを見て行動
- ・一人で行動はしない
- ・すばやく動く

### 2年生

#### 2-1

- ・しゃべらず行動し、班長が班の人を確認して総務に報告する

#### 2-2

- ・「おかしもち」をしっかりとる
  - ・番号順で並ぶ
  - ・協力し合う・メリハリをつける
  - ・一人が先頭でひっぱり、後ろは二人一組になって行く
  - ・しゃべらない。先生の指示を聞く・早歩き
  - ・しゃべらない・注意する
  - ・自分の班の人を確認する「〇班揃いました」と報告
- みんなで協力

#### 2-3

- ・経路を短くする・ルート変更をする
- ・孤立せず団体で移動する
- ・「おかしも」を意識する
- ・落ち着いて急ぐ
- ・距離をある程度保って移動
- ・自分に問いかける（これでいいのかな）
- ・順番なんて気にせず並ぶ
- ・走っていい場所を事前に確認する

### 3年生

#### 3-1

- ☆3-1が先に早く動いて、他の学年やクラスに呼びかけをする

#### 3-2

- 「走る」→場面や状況を考える必要がある（廊下・階段・グラウンドで）
- 「周りを見て必要な声掛け」→窓は閉まっているか
  - ・だれもいないか
  - ・「〇〇は～をしてね」と先生が言わなくても判断して指示ができる

#### 3-3

- 何かあったときに対応しやすいように4・5人で行動する
- 移動したらすぐに手を挙げている人のところへ行く
- 2人揃ったら座る。前から1, 2, 3…と番号を言う
- もちろんしゃべらない（おかしもち）

どのクラスもしっかり考えて話し合った様子がよくわかります。2年生はいろいろなアイデアが出ています。活発な意見の様子がわかります。3年生は「さすが最上級生！」というしかありません。自分のことだけでなく、周囲のこと、先のことを見通す視点、具体的に早く並ぶ方法など、体育大会でのリーダーとしての取組が活かされていると思います。特に3-1は一番早く避難所に着くクラスなので、自分たちのことだけでなく、全体のことを考えて動こうとする思考はすばらしかったです。